

令和6年度事務事業評価シート

令和6年10月17日

事業番号	5711	担当課等	湯河原中学校						
事務事業名	学校支援ボランティア活用事業(湯河原中学校)								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	地域の方々に関わっていただき、地域との連携を図り、生徒を育てる教育環境を推進する。								
対象	地域のボランティア								
内容	授業における教師のサポートや、学校図書館の蔵書整理などに地域のボランティアに携わっていただく。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)		令和6年度(見込)		
	事業費		4,545	43,929		104,000		
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0	0		0		
	総事業費		4,545	43,929		104,000		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		4,545	43,929		104,000		
	財源合計		4,545	43,929		104,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアに関わってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアに関わってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性を図ることができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	学校環境の維持向上及び透明性が確保されることで 児童・生徒の学校生活の向上につながる。
令和5年度までの自己評価または改善点		地域と連携を図ることで教育現場の透明化ができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。
令和6年度の見直し及び改善予定	今後も地域と連携を図り、児童・生徒の学校生活の向上につなげる。	
令和7年度以降の方向性	今後も、学校運営の向上を図るよう取り組む。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	学校環境の維持向上をボランティアの協力をいただき継続的に図る必要がある。
---------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	引き続き地域のご協力をいただきながら学校運営の向上を図る。
---------	----------	-------------------------------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年11月21日

事業番号	11910	担当課等	湯河原中学校							
事務事業名	感染症対策事業(湯河原中学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	1	事業開始年度	令和2年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校における新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心な学校生活を推進します。								
対象	湯河原中学校の生徒及び教職員								
内容	新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品や備品を整備します。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(見込)		
	事業費		1,350,000	1,836,960	0		
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0	0		
	総事業費		1,350,000	1,836,960	0		
財源内訳	国庫支出金		1,350,000	510,000			
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		0	1,326,960	0		
	財源合計		1,350,000	1,836,960	0		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	生徒及び教職員等の安全・安心の確保や支援であるため、行政が行います。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実することができた。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実し、生徒が感染症対策等を習慣化することができた。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必要となります。
令和5年度までの自己評価または改善点		国庫補助制度を活用し、迅速に消毒液、空気清浄機等の保健衛生用品や、備品を整備し、感染症対策を講じた学校運営を行うことができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	性質上、行政が実施する必要がある。
令和6年度の見直し及び改善予定	令和5年度で新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る国庫補助金が終了となったため、令和6年度については計上しない。	
令和7年度以降の方向性	今後は感染症拡大防止が必要な場合は各学校予算において対応する。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	完了	令和5年度で新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る国庫補助金が終了となったため。
---------	----	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	完了	一次評価と同様
---------	----	---------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年10月17日

事業番号	5728	担当課等	湯河原中学校						
事務事業名	生徒用机・椅子・教卓等整備事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑪教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	生徒用机・椅子・教卓等の学校用品を更新し、生徒が安全・安心して学習できる環境を整備する。								
対 象	湯河原中学校								
内 容	生徒用机、椅子、教卓等の修繕及び更新。 学校用品は、机の天板を張り替える等修繕して使用しており、修繕不能となるものを更新している。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(見込)	
	事業費		586,905		593,340		0	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		586,905		593,340		0	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		586,905		593,340		0	
	財源合計		586,905		593,340		0	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	生徒が使用する机等の更新を図るため必要。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
令和5年度までの自己評価または改善点		適宜更新することができている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	備品等の修繕及び更新事業のため、行政として行う必要があると考える。
令和6年度の見直し及び改善予定	令和6年度経常費に移行し、事業のスリム化を図る。	
令和7年度以降の方向性	児童数の推移に注視し、適宜更新していく。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(見直し)	学校管理事務経費に統合することで事業のスリム化を図る。
---------	---------	-----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	学校管理事務経費に統合し、より柔軟な対応を図る。
---------	---------	--------------------------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年10月17日

事業番号	12469	担当課等	湯河原中学校							
事務事業名	図書等整備事業(湯河原中学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	学校図書の充実や、多様化する学習内容へ対応していくための、教師の資質向上を図るもの。								
対 象	湯河原中学校生徒及び教職員								
内 容	学校図書館における児童用図書、教師用指導書、教育振興教材備品、特別支援教育振興備品を購入・整備するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(見込)	
	事業費		1,513,003		1,594,471		1,649,000	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		1,513,003		1,594,471		1,649,000	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		1,513,003		1,594,471		1,649,000	
	財源合計		1,513,003		1,594,471		1,649,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値	
					0	0	0	
					0	0	0	
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値	
					0	0	0	
					0	0	0	

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	文部科学省の学校図書館整備計画に基づき学校図書館の蔵書等の充実を図るもの。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
令和5年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「図書整備事業」、「指導用図書等整備事業」及び「教育振興教材備品事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において児童用図書等の整備を行った。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	学校図書館の蔵書整備等のため、行政として行う必要があると考える。
令和6年度の見直し及び改善予定	学校の要望を的確に把握し、過不足なく整備していく。	
令和7年度以降の方向性	整備すべき備品等については、今後とも継続して行う必要がある。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	定期的な整備を要します。
---------	----------	--------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	引き続き計画的に整備をしていく。
---------	----------	------------------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年10月17日

事業番号	12470	担当課等	湯河原中学校							
事務事業名	総合的学習等推進事業(湯河原中学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	各学年の発達段階に応じた活動や調べ学習を行い、教科にとらわれない総合的な課題などについて学習を行います。また、全教職員が参画する校内事業研究会の開催等を推進しました。								
対象	湯河原中学校生徒及び教職員								
内容	教職員の資質向上を図るもの。 町が推進する「花のある町づくり」に連動し、情操教育の推進を図る。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	事業費	令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(見込)	
コスト	常勤職員						
	会計年度任用職員等						
	人件費合計	0		0		0	
	総事業費	209,251		419,000		0	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	209,251		419,000		0	
	財源合計	209,251		419,000		0	
活動指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	総合的な学習内容の充実を図るため、学校において事業を実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	全生徒を対象としているため公平性を保っている。
令和5年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「教育研究発表事業」、「花いっぱい教育推進事業」及び「総合的な学習推進事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において総合的な学習の推進を図ることができた。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	生徒及び教職員が総合的な学習を推進するため。
令和6年度の見直し及び改善予定	今後も継続実施する。	
令和7年度以降の方向性	引き続き、各学年の発達段階に応じた学習内容を検討する。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、生徒の学習意欲の向上及び教職員の資質の向上を図る必要がある。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続実施により質の高い教育を目指していく。
---------	----------	-----------------------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年10月17日

事業番号	5782		担当課等		湯河原中学校					
事務事業名	外部教育力活用事業(湯河原中学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	中学校の卒業期をとらえ、生徒の調和ある心身の発達と個性の伸長を促すとともに、自らを振り返り、自己の向上と今後の充実した生き方に示唆を与えるもの。								
対 象	湯河原中学校生徒								
内 容	卒業予定の中学3年生に対して、講演会を行うもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)		令和6年度(見込)	
	事業費		30,000	0		400,000	
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0		0	
	総事業費		30,000	0		400,000	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		30,000	0		400,000	
	財源合計		30,000	0		400,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	自己の向上として、卒業生を対象に講演会を実施しているため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	講演会の開催により、教育活動をより充実したものにできている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	講演会の開催により、教育活動をより充実したものにできている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	毎年、卒業生を対象としているため公平性を保っている。
令和5年度までの自己評価または改善点		外部講師をお招きし講演会を開催し、学校教育活動の充実を図った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	講演会を開催することで、生徒の教育活動の充実を図るため。
令和6年度の見直し及び改善予定	今後も継続実施する。	
令和7年度以降の方向性	引き続き、学校教育活動の充実を図る一助となるよう取り組む。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、生徒の教育活動の充実を図る必要がある。
---------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	より柔軟に対応できるよう、総合的学習等推進事業へ統合することを検討する。
---------	---------	--------------------------------------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年11月21日

事業番号	7794	担当課等	湯河原中学校							
事務事業名	校舎等整備事業(湯河原中学校)									
予算科目コード	会計		款		項		目		事業開始年度	

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	学校の修繕必要箇所や工事必要箇所を計画的に改修し、維持管理を図るもの。								
対 象	湯河原中学校								
内 容	令和4年度は、空調設備の整備を実施しました。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(見込)	
	事業費		0		0	
コスト	人件費	常勤職員				
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	0
	総事業費		4,290,000	0	0	0
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		4,290,000	0	0	0
	財源合計		4,290,000	0	0	0
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	維持管理や改修については、学校と連携し実施する必要があるため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	長寿命化計画に従い、適切な維持管理を図ることが出来ている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	長寿命化計画に従い、適切な維持管理を図ることが出来ている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	各学校に修繕等の必要箇所が多くあるので、計画的に改修する必要がある。
令和5年度までの自己評価または改善点		令和4年度は、空調設備の整備工事を行いました。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	学校施設の維持管理は教育委員会並びに学校長であるため。
令和6年度の見直し及び改善予定	学校が希望する修繕必要箇所を精査し、計画的に改修をしていく。また、改修を要する箇所や適正な時期を見直すなど、学校と連携を図りながら実施していく必要がある。	
令和7年度以降の方向性	今後も継続して、児童・生徒の安全・安心の向上を図るため、計画的な改修等を行います。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	計画的に施設改修等を行います。
---------	----------	-----------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	湯河原町学校施設長寿命化計画に沿って計画的に対応していく。
---------	----------	-------------------------------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年11月21日

事業番号	5735	担当課等	湯河原中学校							
事務事業名	防災備蓄用品購入事業									
予算科目コード	会計		款		項		目		事業開始年度	

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	緊急時における生徒の安全確保を図るため、毎年防災備蓄品を順次整備している。								
対 象	湯河原中学校								
内 容	備蓄用食料、飲料水、防災用備品を整備する。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)		令和6年度(見込)	
	事業費		181,374	0		0	
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0		0	
	総事業費		181,374	0		0	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		181,374	0		0	
	財源合計		181,374	0		0	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	緊急時における生徒の安全確保を図るため実施する。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	毎年、防災備蓄品を順次整備している。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	屋上避難や、教室に待機する際に生徒の安全確保が図られる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	湯河原中学校生徒全員に対して防災備品を整備している。
令和5年度までの自己評価または改善点		継続的に防災備品を整備している。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	防災備蓄用品購入事業のため、行政として行う必要があると考える。
令和6年度の見直し及び改善予定	令和5年度から小学校購入分と統合するため事務局費に移し、事業のスリム化を図った。	
令和7年度以降の方向性	引続き、学校と連携を図り、児童・生徒数の推移を注視し、整備を行う。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	防災備蓄用品は、継続的に整備していく必要がある。
---------	----------	--------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	引き続き計画的な整備を継続していく。
---------	----------	--------------------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	5723		担当課等		湯河原中学校					
事務事業名	普通救命講習会開催事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	1	事業開始年度	平成25年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	総合学習の時間で普通救急救命講習会を開催し命の大切さを学ぶ。								
対 象	湯河原中学校2年生								
内 容	普通救急救命講習会(人口呼吸、AEDの取り扱い等)を開催し、不測の事態に備えられるようにする。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)		令和6年度(見込)	
	事業費		0	84,000		0	
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0		0	
	総事業費		0	84,000		0	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		0	84,000		0	
	財源合計		0	84,000		0	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	総合学習の時間を使い実施している。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	消防本部の協力を得て実施している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	人工呼吸やAEDの使い方を学ぶことによって、不測の事態に備えるとともに命の大切さを学ぶことができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受講は2年生全員を対象としている。
令和5年度までの自己評価または改善点		令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。
令和6年度の見直し及び改善予定	元年度からは新型コロナウイルス感染症対策による学校臨時休業や拡大防止対策として中止したが、今後は安全に実施できるよう検討する。	
令和7年度以降の方向性	コロナ禍前と同様に実施できるよう検討していく。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	人工呼吸やAEDの使い方を学ぶことによって、不測の事態に備えるとともに命の大切さを学ぶことができる。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	感染症対策に留意しながら人命救助の啓発を継続する。
---------	----------	---------------------------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年11月21日

事業番号	12471	担当課等	湯河原中学校							
事務事業名	部活動推進事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	部活動の充実を図るため、部活動用品の整備や専門的な指導力の強化をするもの。								
対象	湯河原中学校生徒、地域の方								
内容	部活動用品の更新や修繕、外部指導者の充実等								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(見込)		
	事業費		1,406,966	2,885,514	3,360,000		
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0	0		
	総事業費		1,406,966	2,885,514	3,360,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		1,406,966	2,885,514	3,360,000		
	財源合計		1,406,966	2,885,514	3,360,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	部活動の充実を図るため、学校において事業を実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	部活動の推進について、より充実したものにできている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	部活動の推進について、より充実したものにできている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	全部活を対象としているため公平性を保っている。
令和5年度までの自己評価または改善点		令和5年度は「部活動運営経費」とし事務の拡大を図った。 また、学校において総合的な学習の推進を図ることができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	性質上、行政及び学校において事業を実施するため。
令和6年度の見直し及び改善予定	運営経費となり事業のスリム化を行った。	
令和7年度以降の方向性	部活動用品については、経年劣化等により損傷がみられますので、計画的な整備を行います。 また、外部指導者の充実により、超過する教職員の働き方改革にも繋がりますので、学校への支援を更に図ります。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続的に部活動の振興を図り、地域指導者への適切な支援など検討していく。
---------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	部活動の地域移行などについて検討を深める必要がある。
---------	---------	----------------------------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年10月17日

事業番号		担当課等	湯河原中学校							
事務事業名	生徒派遣事業									
予算科目コード	会計		款		項		目		事業開始年度	

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	部活動派遣事業								
対 象	中学校の部活動で活動する生徒								
内 容	部活動において大会等に参加する生徒の交通費の一部(派遣費)								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)		令和6年度(見込)	
	事業費		100,572	0		0	
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0		0	
	総事業費		100,572	0		0	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		100,572	0		0	
	財源合計		100,572	0		0	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	部活動において大会等に参加する生徒の活動を応援する。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	部活動において大会等に参加する生徒の活動を応援する。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	部活動を通して成長する一助となる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	部活動で活動する生徒を対象としている。
令和5年度までの自己評価または改善点		「部活動運営経費」に統合しスリム化を図った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	行政が実施する必要がある。
令和6年度の見直し及び改善予定	特になし。	
令和7年度以降の方向性	特になし。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(見直し)	「部活動運営経費」に統合することで、事業のスリム化を図る。
---------	---------	-------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	部活動運営経費に統合し、より柔軟な対応を図る。
---------	---------	-------------------------